ＮＰＯフォーラム･だより　№３

ＮＰＯ法人 南房総文化財･戦跡保存活用フォーラム
〒294-0047　千葉県館山市八幡 822　TEL&FAX：0470-22-8271
npo@internet-ex.com　　http://www.internet-ex.com/npo/index.html

「戦後６０年」のアツイ夏･･･！

＜南房総平和フェスティバル２００５～子どもたちに平和を手渡そう！＞

反核フェスティバル･母親大会･日韓子ども交流･終戦記念日の集い･安房平和のための美術展･小平尚道氏の日系収容所パネル資料展･太平洋を渡った房総のアワビ漁師パネル資料展･虹のかけ橋～ウミホタルとアワビのむすんだ日米交流…などなど、「戦後 60 年」の夏にふさわしい平和のリレーイベントをつなぎました。長く積み重ねてきた催しや安房地域で初の試みに、地域を越えた多くの人々が賛同し、平和を願うネットワークが大きく広がりました。それぞれにご活躍された皆さん、素晴らしい働きをごくろうさまでした。

「虹のかけ橋～ウミホタルとアワビのむすんだ日米交流」＆ライドン･ツアー

「アメリカで戦争の歴史といえば、1945年9月2日のミズーリ号の降伏調印式で終わっている。その翌日に米占領軍が館山に上陸し、直接軍政を敷いたというのは歴史的出来事だ。60年目のこの日を記念して、一緒に何かできないだろうか」　…昨年9月、アメリカ･カリフォルニア州在住の歴史研究者サンディ･ライドン氏は、私たちのガイドブックの表紙を見て驚き、このようなメッセージを寄せてきました。ライドン氏は、明治期に房総からアメリカに渡ったアワビ漁師たち日系移民史を研究テーマにしているカブリオ大学名誉教授です。ライドン氏は市民大学の講座受講生にツアーを呼びかけ、このたび、40名の市民と一緒に来日しました。

9月3日AM9：20、米軍上陸の同じ日時の地点にて「日米平和祈念セレモニー」を開催。同日午後には、千葉県南総文化ホール（大ホール）にて、「虹のかけ橋～ウミホタルとアワビのむすんだ日米交流」として草の根国際親善が実を結びました。第一部は、戦時中のエピソードから誕生した館山発祥の合唱組曲『ウミホタル～コスモブルーは平和の色』の初演コンサート。第二部は、スライドを交えたライドン氏の講演と、堂本暁子千葉県知事との英語対談。900名を超える来場者にも、感動の輪が広がりました。

ＮＰＯ理事の鈴木政和さんら市民がこつこつと調査を重ねてきたアワビ移民の資料は、ライドン氏を驚かせました。なぜなら、日系人が強制収容所に入れられる際、写真や資料などは燃やされ、アメリカにはあまり残っていない貴重なものが多かったからです。そこでＮＰＯでは、展示用パネルと資料冊子『太平洋にかける橋～日米民間交流史』を制作しました。来春、ライドン氏はモントレーでもアワビ移民のシンポジウムを企画中であり、房総発バイリンガル（英和表示）の本は 100 年の時を超えて太平洋を渡ります。

合唱組曲『ウミホタル～コスモブルーは平和の色』初演コンサート

2004年に生まれた館山発祥の合唱組曲『ウミホタル～コスモブルーは平和の色』が、満を持して全国に先駆けた初演を行いました。彫刻家･船田正廣氏を実行委員長に8人の音楽指導者のもと、100人を超える市民が集い練習を重ねてきました。当日は、作曲者･藤村記一郎先生が名古屋から駆けつけて指揮を、鴨川･千葉･東京の合唱団も友情出演で花を添えてくれました。アメリカからの40名も、最終章『レッツゴー沖ノ島』を事前に日本語で練習してきており、日米大合唱で感動を分かちあいました。

2005/9/27

ライドン・ツアー　　「南房総を学ぶことが、自分たちの暮らすモントレーを再発見することになる」

ライドン氏は市民講座の受講生達にそう呼びかけ、2005年9月2日～18日までの来日ツアーを企画しました。全16泊のうち、8泊を南房総で過ごした一行は、戦跡・大巌院「四面石塔」・かにた婦人の村・大房岬で世界との関わりを学び、アワビ漁師のふるさと白浜・千倉を訪ね、大山千枚田、那古小学校、鯨塚などを見学してまわりました。とくに、嵐のなか小谷家の墓前にお焼香したり、浴衣姿で八幡祭礼を闊歩するアメリカ人40人の一行は圧巻でした。長期間にわたり、皆さん、たいへんご苦労様でした。とくに小沢道子さん、石崎貴子さん、佐藤博秋さんには英語でのガイドや交流にご活躍いただき、ありがとうございました。

アメリカの皆さんは、「東京・大阪・京都の大都市より南房総が楽しかった」「愛沢先生とライドン先生は双子のようにそっくりな考え方をしている」「愛沢先生とNPOの皆さんがやってることは素晴らしい。ぜひこれからも続けて頑張ってください」　…という感想を残して帰国されました。私たちも南房総を再発見するために、一度モントレーに行ってみたいですね。

◎　「戦後60年」平和事業を振り返って　◎

「平和・交流・共生」の理念が生きる地域づくりのなかで、「戦後60年」をどう迎えていくかは、私にとって大きな課題でした。そのため新年早々、「安房平和フェステバル～子どもたちに平和を手渡そう」事業案を検討する集まりをもったものの、その企画内容が不確定で、新規事業についてもその実施が危惧されました。　その際、「戦後60年」という機会に、従来安房でおこなわれてきた個々の平和事業が、互いに支え合っていくゆるやかなネットワークをつくっていく役割を私たちNPOが担ってはどうか、これまで地域で継続してきた努力を協働して、2～3ヶ月にわたり「戦後60年」平和フェスティバル事業にしていってはどうかをお話しました。

結果的に、多くの方々の知恵が結集して、これまでの事業とともに、平和美術展や終戦記念日の平和の集いをはじめ、日韓子ども交流や日米交流・合唱ウミホタルの初演などの新規事業が関わり、従来にはない市民が主役になった多彩な「平和・交流・共生」事業をつくってきたのではないかと思っています。本当にありがとうございました。

理事長　愛沢伸雄

◆　NPO勉強会ツアー：松代大本営～無言館など長野方面へ
　10月5～6日（水木）　　親睦をかねて、ぜひ一緒に出かけましょう。まだ間に合います。

◆　里見ウォーキング　　（別紙参照）
　10月9日（日）　里見氏関係名所・赤山地下壕・掩体壕を含む市内19ヶ所をめぐるポイントラリー。
　NPOは、解説ガイドやお茶サービスなどのスタッフとして活躍します。

◆　川村高校・平和研修ツアー
　10月14日（金）　4年目になった川村高校、いよいよ館山に宿泊となりました。
　今年は180名の参加者です。スタッフ可能な方は、事務局までご連絡ください。

◆　里見フォーラム・たてやま村歌舞伎『鎌倉三代記』
　10月15日（土）　13：30開演　南総文化ホール　　…　米津さん大活躍！　乞うご期待！

◆　戦跡サークル
　10月23日（日）　9：30～　館山地区公民館　　（別紙参照）